



SGU遊ベンチャー

現在76名の学生と7名の教職員で活動しているSGU遊ベンチャーの目的は、地域に住む子どもとの交流を図ることによってつながりを広げ、地域に根付いた大学を目指すというものです。代表の内浦ゆか梨さん(人文学部英語英米文学科3年)から昨年12月に行われたクリスマスパーティの報告が届きました。

十二月十七日(日)にまつぼくりを使ったクリスマスツリー作りとケーキ(フッシュドノエル)作りを行いました。当日は三十二歳の五十三人の子どもたちと、五十三人の学生、先生方や保護者の方を含め一〇〇人以上で賑やかにしました。前日までの作業は、物が足りない時間がないなど心配配りでしたが、後半に食べ物企画・ケーキ作りを行ったことで、最後まで楽しそうに作業をしていました。最後にみんなで

十二月十七日(日)にまつぼくりを使ったクリスマスツリー作りとケーキ(フッシュドノエル)作りを行いました。当日は三十二歳の五十三人の子どもたちと、五十三人の学生、先生方や保護者の方を含め一〇〇人以上で賑やかにしました。前日までの作業は、物が足りない時間がないなど心配配りでしたが、後半に食べ物企画・ケーキ作りを行ったことで、最後まで楽しそうに作業をしていました。最後にみんなで



URLはhttp://ebetsu-ai.tv/

インターネットテレビ えべつTV開局!

インターネットを使った地域メディア「えべつTV」の動画サイト放送を、昨年十一月三日から江別市野幌でスタートしました。制作・編集及び配信システムの一連のソフトを実際に使用した実証実験であり、えべつ地域の活性化に繋がる地域メディアとしての可能性を探ることを目標としています。大雑把なマスメディア情報ではなく、地域生活者に必要な細かい地域情報の発信を目指しています。

「えべつTV」として映像未経験者も多く参加しながら、動画をコンテンツの核として番組企画から撮影、編集、配信まで、一度サイトを覗いて下さい。

一〇〇六年度 保護者懇談会 全日程終了しました

二〇〇六年度の保護者懇談会最後となる本学会場は昨年十月二十一日、約一八〇名(対象生は二五五名)の保護者を迎え無事終了しました。

当日は全体会で学長から大学の教育目標を中心にお話いただき、教務課長より成績表の見方についての説

「とても学生への愛情を感じました」等、嬉しいお言葉をいただきました。来年度はより充実させ大学の姿勢を理解いただくよう努力していきますので、是非ともご出席のほどよろしくお願い申し上げます。



学芸員課程 博物館実習展示 札学分煙

本学A館一階の考古学展示室で、昨年十月十六日から十一月十五日まで博物館実習展示「札学分煙」を開催されています。

「とても学生への愛情を感じました」等、嬉しいお言葉をいただきました。来年度はより充実させ大学の姿勢を理解いただくよう努力していきますので、是非ともご出席のほどよろしくお願い申し上げます。



後援会秋季役員会開催

昨年十月二十一日、後援会の第五十七回理事会が開催されました。今年度事業の中間報告の後、学生の諸活動の支援を重点とする平成十九年度の予算編成方針が承認されました。また、会則を次回の春季役員会で改正することになりました。

平成十九年度入学生の学費は、平成十八年十月三十一日に開催された学校法人札幌学院大学第一七〇回理事会において決定されました。本学では平成二十一年度から現行の学費制度を導入しました。その骨子は、札幌圏の文系私立大学(四大学の平均学費を目処として決定すること、入学年度から卒業年度までに要する学費総額を入学手続きの時までに明示すること)の二点にあります。

「とても学生への愛情を感じました」等、嬉しいお言葉をいただきました。来年度はより充実させ大学の姿勢を理解いただくよう努力していきますので、是非ともご出席のほどよろしくお願い申し上げます。



第30回学術講演会 講演と音楽の夕べ

昨年十一月九日、第三十回学術講演会「講演と音楽の夕べ」が札幌市民会館で開催されました。あいにく当日は強い雨が降る悪天候でしたが、足元の悪い中、毎年楽しみに足を運んでくださる皆様、在学生の保護者の皆様など約八〇〇名のご来場がありました。

「とても学生への愛情を感じました」等、嬉しいお言葉をいただきました。来年度はより充実させ大学の姿勢を理解いただくよう努力していきますので、是非ともご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

平成十九年度入学生の学費は、平成十八年十月三十一日に開催された学校法人札幌学院大学第一七〇回理事会において決定されました。本学では平成二十一年度から現行の学費制度を導入しました。その骨子は、札幌圏の文系私立大学(四大学の平均学費を目処として決定すること、入学年度から卒業年度までに要する学費総額を入学手続きの時までに明示すること)の二点にあります。

2007年度大学行事等予定

| 前 期 | 後 期 |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 4月2日(月) 3日(火) 在学生ガイダンス・健康診断 | 10月1日(月) 後期授業開始 |
| 3日(火) 入学式 | 6日(土) 大学祭 |
| 4日(水) 新入生ガイダンス | 13日(土) 大学院入試(I期) |
| 5日(木) 新入生健康診断 | 20日(土) 保護者懇談会(本学) |
| 6日(金) 新入生ガイダンス・新入生合宿オリエンテーション | 11月22日(木) 学術講演会(札幌) |
| 7日(土) 新入生合宿オリエンテーション | 24日(土) 25日(日) 推薦入試 |
| 9日(月) 前期授業開始 | 1月19日(土) 20日(日) 大学院入試センター試験 |
| 5月4日(金) 開学記念日 | 28日(月) 後期定期試験 |
| 6月15日(土) 学園創立記念日 | 2月7日(木) 8日(金) 一般入試A |
| 23日(土) オープンキャンパス | 9日(金) 大学院入試(II期) |
| 7月6日(金) 市民講座(旭川) | 3月4日(火) 卒業・進級発表 |
| 7日(土) 保護者懇談会(旭川) | 6日(木) 一般入試B |
| 8日(日) 保護者懇談会(北見) | 18日(火) 学位記授与式 |
| 23日(月) 前期定期試験 | 22日(土) オープンキャンパス |
| 29日(日) オープンキャンパス | |
| 7月30日(月) 8月4日(土) 集中講義期間① | |
| 8月27日(月) 9月1日(土) 集中講義期間② | |
| 9月8日(土) 保護者懇談会(青森) | |
| 9日(日) 保護者懇談会(仙台) | |
| 27日(木) 前期末学位記授与式 | |
| 30日(日) オープンキャンパス | |

「とても学生への愛情を感じました」等、嬉しいお言葉をいただきました。来年度はより充実させ大学の姿勢を理解いただくよう努力していきますので、是非ともご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

「とても学生への愛情を感じました」等、嬉しいお言葉をいただきました。来年度はより充実させ大学の姿勢を理解いただくよう努力していきますので、是非ともご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

平成十九年度入学生の学費は、平成十八年十月三十一日に開催された学校法人札幌学院大学第一七〇回理事会において決定されました。本学では平成二十一年度から現行の学費制度を導入しました。その骨子は、札幌圏の文系私立大学(四大学の平均学費を目処として決定すること、入学年度から卒業年度までに要する学費総額を入学手続きの時までに明示すること)の二点にあります。

教職員人事

○異動
平成十八年十二月十六日付
▼事務局長(事務局長兼管財課長) 小柴寛芳 ▼管財課長(管財課管財係長) 鈴木 仁 ▼教務部教務課(総合政策部政策推進課) 富田昌樹 ▼総合政策部政策推進課(教務部教務課) 久保真志

2007(平成19)年度 入学生の学費表

(単位:千円)

| | 平成19年度 | 平成20年度 | | |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| (1)大学院 臨床心理学研究科 | | | | |
| 入 学 金 | 200 | - | | |
| 授 業 料 | 834 | 874 | | |
| (2)大学院 法学研究科 | | | | |
| 入 学 金 | 200 | - | | |
| 授 業 料 | 634 | 674 | | |
| (3)大学院 地域社会マネジメント研究科 | | | | |
| 入 学 金 | 200 | - | | |
| 授 業 料 | 534 | 574 | | |
| (4)商学部・人文学部・法学部・経済学部 | | | | |
| | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 入 学 金 | 200 | - | - | - |
| 授 業 料 | 834 | 874 | 902 | 922 |
| (5)社会情報学部 | | | | |
| | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 |
| 入 学 金 | 200 | - | - | - |
| 授 業 料 | 910 | 970 | 1,010 | 1,020 |

平成十九年度入学生の学費は、平成十八年十月三十一日に開催された学校法人札幌学院大学第一七〇回理事会において決定されました。本学では平成二十一年度から現行の学費制度を導入しました。その骨子は、札幌圏の文系私立大学(四大学の平均学費を目処として決定すること、入学年度から卒業年度までに要する学費総額を入学手続きの時までに明示すること)の二点にあります。

卒業祝賀会

平成十八年度 学位記授与式
日時 平成十九年三月二十三日(金)午後一時開式
場所 北海道厚生年金会館ホール(札幌市中央区北一条西二十丁目)
大学院修了生、学部卒業生および父母の皆さんは三十分前にご来場ください。

平成十九年度入学生の学費は、平成十八年十月三十一日に開催された学校法人札幌学院大学第一七〇回理事会において決定されました。本学では平成二十一年度から現行の学費制度を導入しました。その骨子は、札幌圏の文系私立大学(四大学の平均学費を目処として決定すること、入学年度から卒業年度までに要する学費総額を入学手続きの時までに明示すること)の二点にあります。

平成十九年度入学生の学費は、平成十八年十月三十一日に開催された学校法人札幌学院大学第一七〇回理事会において決定されました。本学では平成二十一年度から現行の学費制度を導入しました。その骨子は、札幌圏の文系私立大学(四大学の平均学費を目処として決定すること、入学年度から卒業年度までに要する学費総額を入学手続きの時までに明示すること)の二点にあります。

初の北日本総合優勝、二年ぶりの全国決勝進出！ 応援指導部チアリーダー

応援指導部チアリーダー たせまさんでした。その後、昨年の十一月十二日に、北海道立総合体育センターで開催された、第四回北日本チアリーディングフェスティバルにおいて、四年連続大学の部第一位となり、念願の高校・社会人を含めた総合優勝を果たしました。また、十二月九日・十日に国立代々木第一体育館で開催された、第十九回全日本学生チアリーディング選手権大会で、二年ぶりに決勝進出を果たし、総合成績八十一チーム中二十六位となりました。

昨年五月に札幌で開催された全日本選抜チアリーディング選手権大会には、大会規定最少人数の八名(最大十六名まで)で出場し健闘しましたが、予選突破はは



全日本学生チアリーディング選手権大会での演技

国際A級を目指して モトクロス 体育系特別クラブ 奥田一貫さん



写真中央が奥田さん

僕はモトクロスという競技をしています。モトクロスとは整地されている土のコースをバイクで走り速さを競い合う競技です。各クラスに分かれておりジュニアをはじめ国際A級(プロ)までのクラスがあります。毎年、夏になると数々の大会が行われ、道内をはじめ全国の大会にも数多く出場しています。冬は、体力づくりを中心に雪のない道外のコースでの練習も行っています。

今は、北海道では最高峰の国際B級というクラスでレースをしています。去年の大会成績は、北海道で年間ランキング二位、全国では二回予選通過をしました。この結果は、自分にとって納得のいかない成績です。今年は、去年レースをして経験したことを活かし、大会までの練習期間を効率的に使って、また今年さらなる上を目指して全国で結果をのこし、国際A級になります。

日米最先端コーチングを学ぶ ベースボール コンディショニング スペシャル セミナー

昨年十二月十七日、メジャーリーグ、ワシントンナショナルズのストレンジス&コンディショニングコーディネーター友岡和彦氏、西武ライオンズトレーニングコーディネーター宮本英治氏を講師に迎え、「ベースボールコンディショニング」を開催しました。

このセミナーは、学園創立六十周年・新体育施設完成を記念して実施したもので、道内のジュニアの野球指導者のみならず、バレーボールなどの種目の指導者も



参加し、日米最先端のトレーニングを学びました。両氏とも、体幹の重要性を強調した上で、腹背筋のバランス比率、下半身と上半身の連動などに話が及び、具体的なトレーニング方法を紹介しました。その後、明治製菓株式会社の協力で、トップアスリートの食事などについて学ぶ「最先端栄養学」の講座も聞き、試合前後・当日の食事の基本や、コンビニエンスストアを活用したバランスのとれた食事の方法など、基礎から現代の生徒・学生を意識した内容で、サプリメントなどとの賢い付き合い方も紹介されました。

参加者からは、「大変ためになった」「引き続きこのような会を開いて欲しい」「平日では足りない」となどの声が寄せられました。

クロスタフ 第二回キャンパスベンチャーグランプリ北海道 優秀賞を受賞した「学生社長」 社会情報学部三年 鎌田 章誠さん

昨年九月から十月にかけて実施された「第二回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)北海道」(日刊工業新聞社主催)にて、社会情報学部三年の鎌田章誠さん(皆川雅章ゼミナール)がニュービジネス部門優秀賞に選ばれました。

鎌田さんの提案したブランドは「有料クーポンモバイルサイト「GET COU PON札幌グルメ版」」。無料クーポンをわずかな額のユーザ負担とし、広告掲載企業には広告費を負担させない分、ユーザに対する割引率を大きくできるという逆転の発想のビジネスモデルです。大学生協においていたコンテストの募集チラシを偶然発見して即応募した鎌田さんには絶対受賞する自信がありました。

「既に様々な企業にこのプランを提案し四月のサイトオープンに向けて、五〇以上の店舗と契約を結んでいきました。評価してくれた経営者からの個人的な投資も受け、現在は株式会社設立の準備中なんです。」

鎌田さんは、当面は自宅を拠点に事業をスタートさせます。今回の受賞がきっかけで産官学のシンポジウムに招かれるなど、活躍の場は広がりをみせています。「東京では起業する学生は珍しくないのに、北海道では希少なものは官や学の支援体制が整っていないからだと思う。後に続く学生のために環境を整備されていくと嬉しい。」



素晴らしい施設に プロも感心

両氏は翌日、布施晶子学長を表彰訪問されました。新体育施設、とりわけトレーニングルームは、「プロになって頂きたい」と、施設と今回の取組みに高い評価をされました。

学長は両氏のご協力に感謝し、学生の教育・課外活動はもろろんのこと、今後



「HANAテレビ」取材風景(昨年十一月十日放映)

このラーメンは、江別の大学に通う学生達にも地元の名産を知ってもらおうと、江別経済ネットワークが企画したものです。製造は江別市に本社がある菊水です。同社独自の寒干し製法で作られた乾麺は、ゆでると生めんのような食感になり、もちもちした歯ごたえが特徴です。

江別市の中学生が就業体験 昨年十月十六日から五日、江別市立大麻中学校の間、江別市立大麻中学校の二年生が、本学図書館(五名)と大学生協(二名)で職業体験学習を行いました。

これは、江別市が「自ら考え行動する生徒の育成」を目標に、中学生が江別市内の事業所での職業体験を通じて経済社会や仕事について理解を深める「キャリア教育実践プロジェクト」の一環で、本学では昨年にも続き受け入れられました。

中学生達は、初めての環境に緊張した様子ながら、与えられた仕事に真剣な表情で取り組んでいました。



まるやかな味のミルク味噌

学生食堂でも 「地産地消」

札幌学院大学生協では「地元特産の小麦を使った自産自消。手頃な価格なので、帰省のときなどの土産にぜひ」と話しています。

江別小麦めんを使用したラーメンが十二月から学食のメニューに登場。味は醤油、豚骨、ミルク味噌の三種を週替わりで楽しめま



も優れた施設を活かした取り組みを進めたいと抱負を述べました。



苫小牧港に潮の香とともに外国貨物が到着する。運ばれてきたコンテナを開ける。緊張が走る。外国と対峙する瞬間。

この瞬間を毎日のように体験しているのが、一九九八年三月に法学部法律学科を卒業、現在はナラサキスタックス株式会社通関課に勤務されている松田健太さんです。品物を輸出入する

卒業生この人 ナラサキスタックス株式会社 勤務 通関士 松田 健太さん

個人や会社に代わり、負担する税額を計算し申告する等、一連の手続きを行うことを業務としています。この仕事を「外国と内国とを二つの点で結び付ける役割」と表現する松田さん。そのことばに宇宙が感じられます。

松田さんは、三年生在学中に通関士の資格を取得しました。この資格は、税関長が認定する国家資格です。合格率は毎年十数パーセント程度。この資格との出会いは、大学近くの木屋でした。一九九〇年代後半は、第一次水河期といわれるほどの就職が困難な時代でした。一、二年生のときに遊びにバイトにと精を出しすぎてしまったと反省する松田さんは、本屋で手にとった就職ガイドをめくったとたん、「これだ」と直感したそう

「人の心をわかり、 仕事をわかる」

です。一年生の基礎演習で田邊博之先生から法の全般を学び、その後のゼミで渡部保夫先生から専門的に刑事訴訟法等の知識を吸収した松田さんには知らないうちに法のセンスが備わっていたのでしょう。「もともと外国の文化やものには関心がありました。自分にあっただけでつながっているお客様との関係から活動範囲を広げて顔の見える営業を展開し、コミュニケーションを密にして会社に貢献したい」と語ってくれました。

これから就職する学生さんに一言「自分はどうな仕事に向いていて、何をしたいかを考えることが大切です。自分を客観的に眺める努力をしてみてください。人の心をわかる人が、仕事をわかる人になることができます。私も心をわかろうとする努力をしたいと思います。日々努力です」